

(2) 冬型感染症のシーズン別報告状況(表11、図4参照)

令和2年シーズン(令和2年6月下旬～令和3年6月下旬)の特徴。

インフルエンザは、通常のシーズンと比較して大幅に少ない患者報告数であり、流行が見られなかった。

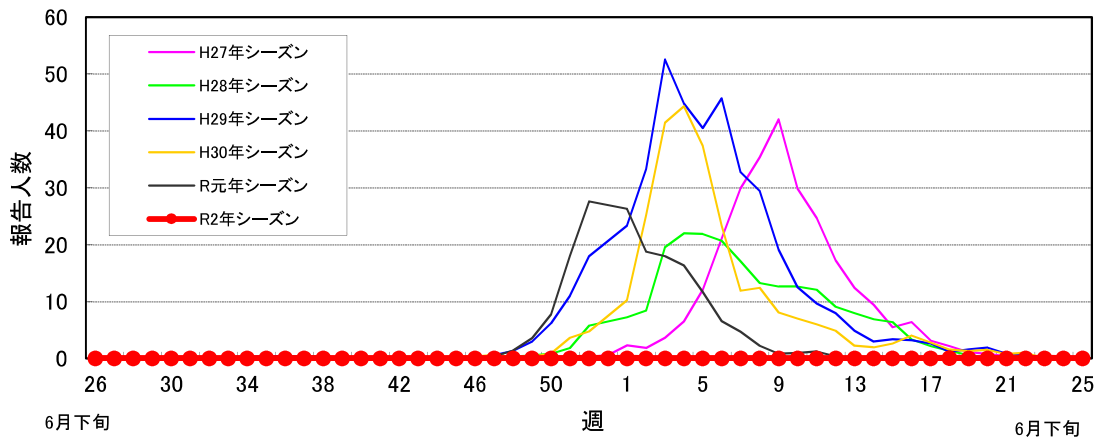
感染性胃腸炎は、3月下旬まで過去5シーズンと比較して少ない患者報告数であったが、4月以降は増加した。

表11 冬型感染症シーズン別報告状況

インフルエンザ(単位:人)					感染性胃腸炎(単位:人)				
	東部	中部	西部	県計		東部	中部	西部	県計
平成27年シーズン	3,472	1,635	2,743	7,850	平成27年シーズン	3,253	1,652	1,672	6,577
平成28年シーズン	2,376	1,735	2,165	6,276	平成28年シーズン	2,892	1,678	1,750	6,320
平成29年シーズン	4,085	3,500	4,508	12,093	平成29年シーズン	2,725	1,677	1,771	6,173
平成30年シーズン	2,523	2,038	3,106	7,667	平成30年シーズン	2,482	1,769	1,974	6,225
令和元年シーズン	1,929	1,356	1,640	4,925	令和元年シーズン	1,734	1,122	1,261	4,117
令和2年シーズン	0	0	5	5	令和2年シーズン	1,087	622	1,218	2,927
6年シーズン平均	2,398	1,711	2,361	6,469	6年シーズン平均	2,362	1,420	1,608	5,390

※当年6月下旬～翌年6月下旬

インフルエンザ(県平均:定点当たり)



感染性胃腸炎(県平均:定点当たり)

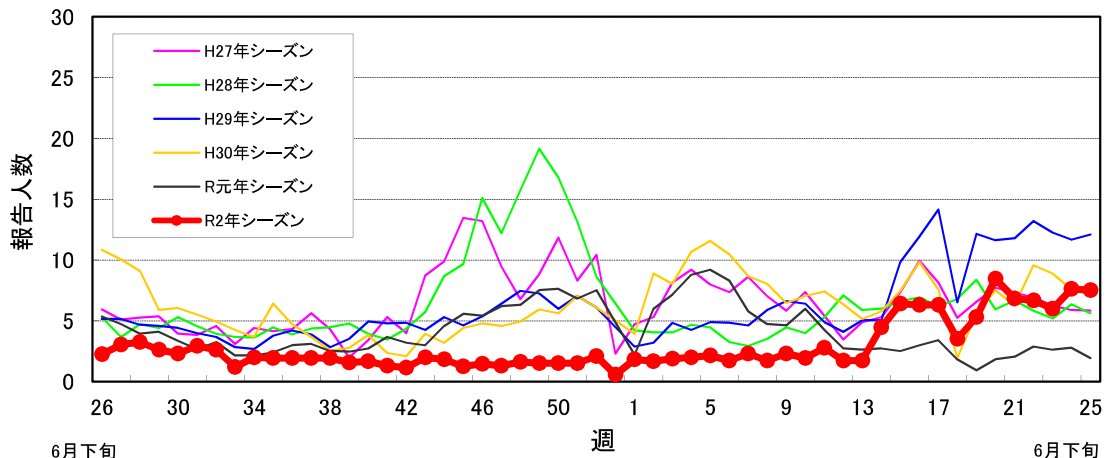


図4 冬型感染症シーズン別報告状況